

# 十和田時空

# 新聞

発行日  
8月4日

フィードロイ朝陽  
外和泰地  
松田祥吾  
紫在寮 諒

# 今と昔の違

## 相坂屋の歴史



ぼくたちは、相坂屋に取材にいきました。相坂屋は、一九二七年創業しました。相坂屋を創業したのは、三代目社長江渡信貴さんの祖父にあたる源助さんです。開業から約九十一年、今も相坂屋は続いています。

## お店の紹介



昔の新聞です。(昭和35年)へやのかべには、ありました。

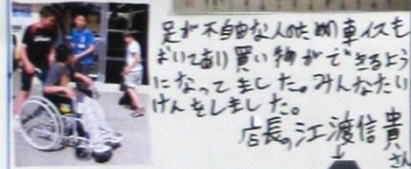
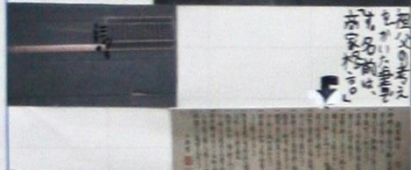


## 相坂屋の宝物



相坂屋には宝物があります。それは「人」です。

社長に「一番大切な宝物はなんでしょうか」ときくと、「人で、人と答えました。理由を聞くと、「人がいなければ、何もできない。楽しいこともできない」とお答えになりました。そこで、社長は、人間性というテーマのパンフレットを私達にあたえてくれました。つまり、相坂屋の社長、江渡信貴さんは、人間の事が好きおし言うことが分かります。



## みんなの感想

相坂屋は昔、入口にライオンなどの動物がいました。(約5種類)お客のサービスも考えて、サービスなどのお客を喜ばせるためにやる活動も行いました。さらに、その当初仕事が大変だったため、無料で、店の中で昼食を作って食べさせました。今になつては人が少なくなつて、そういうことはなくなつたけれども、今と昔の考えは、おつと変わりがありません。今でも、介護や草刈りなどの便利屋も請負っています。

お客さんのために

今回相坂屋に、ぼくは相坂屋の取材に行つて相坂屋の歴史を学ぶことができました。大変、勉強になりました。

ぼくは、相坂屋の今と昔のちがいは、人間の良さがいかに大切かです。相坂屋のそういう所が良かったです。また、行坂屋のそういう所が良かったです。また、行坂屋のそういう所が良かったです。